

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 23 年 12 月 22 日 (2011.12.22)

【公表番号】特表 2011-504337 (P2011-504337A)

【公表日】平成 23 年 2 月 3 日 (2011.2.3)

【年通号数】公開・登録公報 2011-005

【出願番号】特願 2010-534027 (P2010-534027)

【国際特許分類】

H 0 4 N 7/26 (2006.01)

H 0 4 N 7/16 (2011.01)

H 0 4 N 5/91 (2006.01)

H 0 4 N 5/92 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 7/13 Z

H 0 4 N 7/16 Z

H 0 4 N 5/91 Z

H 0 4 N 5/92 H

【手続補正書】

【提出日】平成 23 年 11 月 7 日 (2011.11.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

映像を符号化する方法であって、

第 1 の符号化パラメータに基づいて第 1 のバージョンの符号化映像を生成するステップと、

第 2 の再符号化パラメータに基づいて少なくとも 1 つの第 2 のバージョンの符号化映像を生成するステップと、

前記第 1 のバージョンの符号化映像および前記少なくとも 1 つの第 2 のバージョンの符号化映像に基づいて比較データを生成するステップと、

前記第 1 のバージョンの符号化映像と、前記少なくとも 1 つの第 2 のバージョンの符号化映像と、前記比較データとを表示するステップと、
を含む、前記方法。

【請求項 2】

前記比較データが、前記第 1 のバージョンの符号化映像および前記少なくとも 1 つの第 2 のバージョンの符号化映像から生成される映像アーチファクトのリスト、映像ファイル・サイズ、符号化パラメータ、およびメタデータのうちの少なくとも 1 つである、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記生成されるメタデータが、平均ビット・レート、映像フレーム構造、およびピーク信号対雑音比のうちの少なくとも 1 つである、請求項 2 に記載の方法。

【請求項 4】

前記第 1 のバージョンの符号化映像および前記少なくとも 1 つの第 2 のバージョンの符号化映像が、シーンおよびフレームの少なくとも 1 つである、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 5】

前記比較データの視覚化に基づいて、前記符号化映像の最終バージョンとして、前記少なくとも１つの第２のバージョンのうちの比較的アーチファクトの少ない１つのバージョンを選択するステップをさらに含む、請求項１に記載の方法。

【請求項６】

前記第１のバージョンの符号化映像および前記少なくとも１つの第２のバージョンの符号化映像の分割視覚化に基づいて、前記符号化映像の最終バージョンとして、前記少なくとも１つの第２のバージョンのうちの比較的アーチファクトの少ない１つのバージョンを選択するステップをさらに含む、請求項１に記載の方法。

【請求項７】

前記少なくとも１つの第２のバージョンの符号化映像を生成するステップが、前記少なくとも１つの第２のバージョンのそれぞれに対してバージョン表示を割り当てることを含む、請求項１に記載の方法。

【請求項８】

前記バージョン表示の履歴を表示するステップをさらに含む、請求項７に記載の方法。

【請求項９】

前記少なくとも１つの第２のバージョンの符号化映像を生成するステップが、所定の映像アーチファクトに基づいて少なくとも２つの再符号化パラメータを適用することを含む、請求項１に記載の方法。

【請求項１０】

映像を符号化するシステムであって、

第１の符号化パラメータに基づく第１のバージョンの符号化映像、および第２の再符号化パラメータに基づく少なくとも１つの第２のバージョンの符号化映像を生成するエンコーダと、

前記第１のバージョンの符号化映像および前記少なくとも１つの第２のバージョンの符号化映像に基づいて比較データを生成する比較器と、

前記第１のバージョンの符号化映像と、前記少なくとも１つの第２のバージョンの符号化映像と、前記比較データとを表示するユーザ・インタフェースと、
を備える、前記システム。

【請求項１１】

前記比較データが、前記第１のバージョンの符号化映像および前記少なくとも１つの第２のバージョンの符号化映像から生成される映像アーチファクトのリスト、映像ファイル・サイズ、符号化パラメータ、およびメタデータのうちの少なくとも１つである、請求項１０に記載のシステム。

【請求項１２】

前記生成されるメタデータが、平均ビット・レート、映像フレーム構造、およびピーク信号対雑音比のうちの少なくとも１つである、請求項１１に記載のシステム。

【請求項１３】

前記第１のバージョンの符号化映像および前記少なくとも１つの第２のバージョンの符号化映像が、シーンおよびフレームの少なくとも１つである、請求項１０に記載のシステム。

【請求項１４】

前記比較器が、前記比較データの視覚化を生成するように構成され、前記ユーザ・インタフェースが、前記比較データの視覚化に基づいて、前記符号化映像の最終バージョンとして、前記少なくとも１つの第２のバージョンのうちの比較的アーチファクトの少ない１つのバージョンを選択するように構成される、請求項１０に記載のシステム。

【請求項１５】

前記第１のバージョンの符号化映像および前記少なくとも１つの第２のバージョンの符号化映像の分割視覚化を表示するビデオ・プレーヤをさらに備え、前記ユーザ・インタフェースが、符号化映像の前記第１のバージョンの符号化映像および前記少なくとも１つの第２のバージョンの符号化映像の分割視覚化に基づいて、前記符号化映像の最終バージョン

ンとして、前記少なくとも1つの第2のバージョンのうちの比較的アーチファクトの少ない1つのバージョンを選択するように構成される、請求項10に記載のシステム。

【請求項16】

前記少なくとも1つの第2のバージョンのそれぞれに対してバージョン表示を割り当てる符号化バージョンング・モジュールをさらに備える、請求項10に記載のシステム。

【請求項17】

前記ユーザ・インタフェースが、前記バージョン表示の履歴を表示するように構成される、請求項16に記載のシステム。

【請求項18】

複数の所定の符号化フィックスをさらに備え、前記複数の所定の符号化フィックスのそれぞれが、少なくとも1つの再符号化パラメータを含み、前記エンコーダが、所定のアーチファクトに基づいて前記複数の所定の符号化フィックスのうちの少なくとも1つを適用するように構成される、請求項10に記載のシステム。

【請求項19】

マシンによって読取り可能なプログラム記憶装置であり、映像を符号化する方法のステップを実行するための、前記マシンによって実行可能な命令のプログラムを実装するプログラム記憶装置であって、前記方法が、

第1の符号化パラメータに基づいて第1のバージョンの符号化映像を生成するステップと、

第2の再符号化パラメータに基づいて少なくとも1つの第2のバージョンの符号化映像を生成するステップと、

前記第1のバージョンの符号化映像および前記少なくとも1つの第2のバージョンの符号化映像に基づいて比較データを生成するステップと、

前記第1のバージョンの符号化映像と、前記少なくとも1つの第2のバージョンの符号化映像と、前記比較データとを表示するステップと、
を含む、前記プログラム記憶装置。

【請求項20】

前記比較データが、前記第1のバージョンの符号化映像および前記少なくとも1つの第2のバージョンの符号化映像から生成される映像アーチファクトのリスト、映像ファイル・サイズ、符号化パラメータ、およびメタデータのうちの少なくとも1つである、請求項19に記載のプログラム記憶装置。